

バイオガスプラント及び使用済み紙おむつ燃料化施設 竣工のお知らせ

極東開発工業株式会社（本社：兵庫県西宮市甲子園口6丁目1番45号 社長：布原 達也 特装車事業、環境事業、パーキング事業）は、建設を進めておりましたバイオガスプラント及び使用済み紙おむつ燃料化施設の建設工事を完了し、この度竣工しましたのでお知らせいたします。

1. バイオガスプラント（食品リサイクル工場）



本施設は、DOWAグループのバイオディーゼル岡山株式会社様（岡山県岡山市南区海岸通1丁目3番1号 社長：石濱 義朗 廃食用油を原料としたバイオディーゼル燃料の製造・販売、食品廃棄物からのバイオガス発電）の発注によるもので、2019年9月に起工、2021年1月に竣工いたしました。

「食品リサイクル工場」と名付けられた本施設は、食品廃棄物のメタン発酵処理を行うバイオガスプラントで、包装容器等を取り除く前処理設備を設け、飼料や肥料へのリサイクルが難しい食品廃棄物を有効利用します。

食品廃棄物の受入計画量は年間16,000tで、メタン発酵を用いたバイオガス発電により、約1,600世帯の年間電力使用量に相当する発電と売電を行う計画です。

【本件概要】

- | | |
|---------|----------------------|
| 1. 施設名 | 食品リサイクル工場 |
| 2. 設置場所 | 岡山県岡山市南区築港栄町7番49 |
| 3. 敷地面積 | 8,900 m ² |
| 4. 処理能力 | 45t/日 |
| 5. 発電容量 | 910 kW |

2. 使用済み紙おむつ燃料化施設（西天北サーマルリサイクルファクトリー）



本施設は、西天北五町衛生施設組合様（北海道天塩郡幌延町字幌延884番地 組合長：野々村 仁 幌延町、豊富町、天塩町、中川町、遠別町の五町で構成する一般廃棄物広域処理組合）の発注によるもので、2019年6月に起工、2021年3月に竣工いたしました。

使用済み紙おむつ燃料化施設である「西天北サーマルリサイクルファクトリー」は、これまで地域で廃棄、埋め立て処分されていた使用済み紙おむつと剪定枝等の木質バイオマスをエネルギー利用するための混合燃料製造施設で、剪定枝等の木質バイオマスを太陽熱で乾燥し、滅菌した使用済み紙おむつと破碎、混合し、ペレット状の混合燃料を製造します。

使用済み紙おむつに木質バイオマスを混合することで、燃料の安定燃焼を実現しました。

製造された混合燃料は、地域の老人ホームに整備された専用ボイラで燃焼し、給湯熱源に利用されることで、エネルギーの地産地消に貢献します。

【本件概要】

1. 施設名	西天北サーマルリサイクルファクトリー	
2. 設置場所	北海道天塩郡幌延町字幌延 883 番地	
3. 敷地面積	約 8,000 m ²	
4. 処理能力	①紙おむつ原料化設備	170t/年 (0.6t/日)
	②木質バイオマス保管ヤード	58t/年
	③木質チップ化設備 破碎設備	58t/年 (0.23t/日)
	乾燥設備	58t/年
④混合燃料化設備	紙おむつ原料	54t/年 (0.21t/日)
	木質チップ	36t/年 (0.15t/日)
		(計0.36t/日)

当社は、環境事業を通じて、環境負荷の低減およびSDGsの達成に貢献してまいります。

<広報お問合せ先>
極東開発工業株式会社 総務部 総務課
〒663-8545 兵庫県西宮市甲子園口6丁目1番45号
電話 (0798) 66-1000 F A X (0798) 66-8156
ホームページアドレス <http://www.kyokuto.com/>